

阪神・淡路大震災から15年



震災1年後頃の淡路市志筑。家屋が密集していた町も更地が目立っている。
写真左端には仮設住宅群が整然と並んでいる(淡路市・栗田哲司先生提供)

淡路支部ニュース

2010.1.25
No. 255

兵庫県保険医協会
淡路支部
〒650-0001 洲本市物部三丁目44番地
松本医院内
☎0799-22-0071

六四三四人の犠牲者を出した阪神・淡路大震災から十五年。地震発生日の今日十七日、各地で追悼集會が行われた(同封の兵庫保険医新聞に詳報)。

Let's...

新しい年―二〇一〇年、平成二十二年、昭和八十五年の第一号支部ニュース。まずはおめでとうございませう。

度々申し上げますが「政治の悪い時は天気が悪い」。正月に東日本と東北は大雪。日本全国寒い寒い元旦に始まりシベリアからの寒気団が周期的に到来するので、寒暖の変動が激しく、健康者でも対応が困難。老人や病弱者はなおさらである。政界は皆様ご承知の通り、マスコミも対応が大変と思われる。「全国保険医新聞」が「新政権に望む」投稿募集の期限を一月末日としているが、現状ではギリギリ位まで予測困難で、皆様なかなか原稿が書けないのではないのでしょうか？

鳩山内閣、滑り出しは初の政権交代というので好調であつ

たが、仕分けのテレビ放送が頂点で、次第に支持率は下落の一途を辿り、一部のマスコミでは五十%を切るに至っている。今年には選挙の年。日本の参院選初め世界のアチラコチラで。

次は、思い出さしたくない阪神・淡路大震災。特に北淡の皆様方には！ 私は当時、県医理事等であつたので、毎週ハーバーランドから山手の県医師会館まで諸所の惨状を見ながら通つた。その十五回記念は、ちようど裏側のハイチでM七の地震が起つていた。それらの対応も鳩山内閣は遅い。

内閣総理大臣は三権の長であるはず。鳩山さん、それを忘れておられませんか。

今年箱根駅伝ではほとんどドラマはなかつたが、一七日の全国女子駅伝の順位変動には、三時間テレビの前で座っていました。

【一月十七日 松本記】

二〇一〇年

新年のご挨拶

淡路支部支部長 高田 裕



平成二十二年の新春を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、新型インフルへの対応に振り回された医療機関も多かったこと

でしょう。また、民主党政権の誕生により、中医協委員人事で日医外しが行われたことは記憶に新しいところであります。

今年には診療報酬改定にあたり、十年ぶりに〇・一九%のプラス改定となりますが、その幅は小さく、民主党が唱えていた総医療費対GDP比をOECD加盟国まで引き上げるにはほど遠く、医療崩壊を食い止めるまでには至りません。その中身については、さらに注

目していく必要があります。

後期高齢者医療制度の改革の骨子も今年度内に策定される予定であり、どのように変わるのか注目される場所でもあります。

また、四月には日本医師会会長選挙も実施されます。「医師会改革」にも期待し、医師会との協力により国民の保健医療を守る運動を展開していく絶好のチャンスでもあると考えます。

今年も診療内容を向上するためのノウハウにも取り組んで行きます。さらに、社保審査対策、経営、税務、共済活動など会員に役立つ活動を展開していきたいと思えます。

本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

インターネットで保険医協会へアクセス!!



★情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。
登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp

“夜間は総入れ歯を外して寝る” という命題をめぐる

会員投稿

洲本市・歯科 藤原 知

渡辺武之・有阪博史「夜間睡眠時に総義歯は装着すべきか否か―睡眠時無呼吸症候群の観点から―」(日歯医師会誌二〇〇九 六十二巻七号)の論文に接した。
誰に気兼ねすることもない。嚙べたり喋ったりの日常的な動作からも解放されてい

る。

大きな図体で周りに迷惑かけ通し。存在そのものがストレスとなつて、心身を傷(いた)ぶっている。

餌あり水気あり至適温度ありの口腔内は細菌繁殖のパラダイス。そこを棲み処に不潔のお手伝い。

こんな総入れ歯に“正義”の片(かけら)でもあるのか。“

百害あつて一得なし”の“無頼の居候”ではないのか。

その限りでの結論は、“夜は外すべし”である。

現に七割の人が外して寝るといふ。

ところがここに来て、エビデンスを追究する前掲のような実証的研究の一つによつて、旧知の常識に新しい一つの知見が付け加えられることになつた。

「この研究で夜の睡眠時に総

義歯を装着することで、無歯顎

患者の睡眠時無呼吸を改善する可能性があることが分かつた」

、そして、顎堤粘膜部と睡眠時無呼吸との間の“リスク・有益比率”の評価がなされるべきであると指摘された上で、

「この点においても、指導的な歯科医師の役割は非常に大きいだろう」と結言された。同感である。

さて、臨床がらみの日常的な実感のなかで獲得してきた“百害あつて一得なし”と断じてきた私の欠エビデンス的知見ないし常識も、睡眠時無呼吸者が夜間総義歯を装置するという条件下で得た実証的研究の一つによつて、“一得はあり”うるべしとの補遺を受けた。

臨床における義歯指導に当つてこの補遺は、時に応じて十分に生かされて然るべきであると思うのである。

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。 日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。 地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。 医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠 まで



兵庫県保険医協会淡路支部「医院経営勉強会」 税理士さんとの上手な付き合い方

日 時 1月30日(土)15時～

会 場 (株)ケーエスケー洲本支店 (桑間字椿鼻337-4)

講 師 保険医協会税務講師団 佐藤 庸安税理士

参加費 無料

※終了後に懇親会(「たいほう」会費5,000円程度)

確定申告の季節になりました。帳簿整理や申告書類の作成、提出書類のチェック、また税務調査時でも、税理士さんは大変心強い存在です。

ところが、イザというときに顧問税理士さんへの不満が噴出し、「普段顧問料を払っているのに、闘ってくれなかった」「顧問料の相場は?」「税理士を変えたい」などの声を聞くことがあります。逆に、院長が会計実務を税理士さんに「マル投げ」で、税務への理解が不十分なあまりに、税理士さんが困ってしまう事例を聞くことも。

医療機関は、税理士さんとどのようにお付き合いすればいいのでしょうか。今回の勉強会では、税理士事務所の仕事、会計実務の手順、税理士のキャリア形成、税理士と顧問先の関係、税理士から見た医業の課題、税務調査への態度など、ベテランの税理士さんから、わかりやすい事例を踏まえてお話いただきます。職員さんもお誘いの上、ぜひご来場ください。

お問い合わせは、Tel 078 - 393 - 1807 事務局 楠(クノキ)、段林 まで

申込書 Fax078 - 393 - 1802 楠 宛

2010年1月30日(土) 兵庫県保険医協会淡路支部

- ・医院経営勉強会に () 参加する () 都合がつけば
- ・懇親会に () 参加する () 都合がつけば

お名前 _____

医療機関 _____

お電話 () _____

人数 _____